

ネットワーク社労士



新しい支部の確立に向けて
支部長 橋本 正行

21世紀最初の支部長をおおせつかりました。これで3期目、20世紀から21世紀へつなぐことで私の役目は終わりにしたいと考えております。

さて新しい時代の支部作りについてですが、いくつか述べさせていただきます。

1 メーリングリスト

熊谷支部では昨年11月にいち早くメーリングリスト(以下MLという)を立ち上げました。現在82名の支部会員中27名の登録、このほとんどを開業会員が占めております。県内ではおそらく一番早い対応であり、全国的に見てもMLを支部内で有効に活用している支部は少数ではないだろうかと思っております。

今後の登録者の推移をみて、支部からの通知をメールで支障ないものについてはMLにシフトしていこうと考えております。またMLで有益な情報交換を行い、会員の意見を集約するようなことができればいいなと考えております。まだ登録がお済みでない方は下記へメールください。

メールアドレス：mmh@ps.ksky.ne.jp

関誌の発行

2 支部組織としての成熟

今回執行部を5つの部に分け、新しい組織を作りました。各部の部長、副部長、部員も既報の通り決まりました。皆様のご協力により、スムーズにこのようなすばらしい支部組織図ができたことに心より感謝申し上げます。

今年度からこの組織を機軸にして支部活動を推し進めてまいります。支部組織そのものが初めての経験であり、発展途上のものであります。今後組織のあり方等についていろいろと問題が生じてくる場合もあると思っておりますが、その節は皆様の忌憚のないご意見をお寄せくださるようお願いいたします。



平成13年10月4日発行
埼玉県社会保険労務士会熊谷支部研修部



3 機関誌の発行

今年度から研修部で支部の機関誌を発行することになりました。機関誌の必要性については極端な話、メールが実用化している今日、メールマガジン(以下メルマガといいます)でもいいんじゃないかという意見があります。確かに機関誌の一側面、情報の伝達という点では、速報性のあるメルマガの方がまさっていますが、機関誌の目的のもうひとつ会員交流、もう少し別の言葉で言えば人肌感覚の交流という意味で、メルマガはだめです。IT革命の今日、ディスプレイに情報があふれています。でも画面上の即物的なやりとりは人の心を疲れさせます。メルマガだってじっくり読みたいときはみなプリントアウトしてから好きな場所で読むんじゃないでしょうか。

だから支部の機関誌としては最初から紙でほっとするようなものを作って欲しいのです。情報伝達の速報性という意味ではメールに及ぶわけでもないですが、行間のぬくもりを伝えるのは紙でなくてはなりません。

以上のような観点から、企画は自由な発想で考えていただきたいと研修部にお願いしました。ご期待ください。

4 楽しい支部

現在支部内で助成金研究会、年金勉強会、自由研究のホープス(他支部の会員も含む)というグループなどがあります。これらはみんな勉強会ですが、この他に遊びのグループがあってもいいなと考えています。たとえばボーリング愛好会、カラオケ愛好会、ゴルフ愛好会、温泉研究会、史跡めぐりの会、音楽愛好会、旅行クラブ等々。是非これをやりたいという方は手をあげて仲間を募ってください。今後支部から活動に対する補助金が出せるようになってほしいなと考えております。

新 役 員 紹 介



熊谷支部理事就任にあたって 副支部長 木元 貢次

熊谷支部のみなさん、こんにちは。

私は平成3年4月に開業しましたので、既に、10年が経過しました。開業当初はいろいろと諸先輩に多岐に渡り指導や教を請い親切丁寧にアドバイスいただき、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

開業2年目より支部の旅行幹事を任されて、その時期以来、会計担当4年、理事2年とほとんど毎年のように支部のポストに関わってきました。私みたいな、たいした能力の無い者が遂行できたのも、皆さんの寛大な心あつてのことだと思います。

13年度、理事として2期目を任命されました。何と、本会の広報委員会で委員長をやれと内々の指名を受け、諸先輩がいるのにとおもいましたが、何とか自分なりにやってみようと思ひ互選されました。広報委員会は本年度の総会でもいろいろ指摘を受けましたがこれから諸問題が待ち受けております。支部長をはじめ、支部の会員の方々に教をを受けたり、協力をえないとできない面もありますので宜しくお願いいたします。

支部の体制は、本年度より部制となり、すっきりとし、より機能的となり、すばらしい部長、副部長、部員が担当することとなりました。支部のためにご尽力を宜しくお願いいたします。また支部の方々の協力も宜しく重ねてお願いいたします。

支部長、今年はなるべく足を引っ張らないよう微力ながら頑張りますので、本年度もいろいろご指導お願いいたします。



副支部長就任にあたって 副支部長 鳥羽 志津子

この度、皆様からの推薦を頂きまして熊谷支部の理事に就任させていただきました鳥羽でございます。

諸先輩の先生方の中ではまだ未熟者ありながら、大役を引き受けさせていただきましたことを、私は今、とても真摯に受け止めております。

経験の浅い私を、県会に送っていただいたのですから、皆様の暖かいご支援と、ご期待の中で、熊谷支部のためにも私は精一杯ベストを尽くすつもりです。

就任後のただ今の心境は、各種行事に積極的に取り組みたいと考えております。その一環として、県の委員会は、事業委員会に所属する事になりました。事業委員会がどのようなことをするのか、今後の事業計画の詳しい内容はこれから決定するようです。決定次第、支部の皆様にもご報告させていただきますが、この委員会に所属できたことは、私が希望するはじまりの第一歩と認識しております。

そして今までの私は、順応性が優れていると言えれば良い表現ですが、その場主義的でしたから、実際わからない事ばかりですし、すぐに疑問符に行き当たると思っています。それらを、私なりに理解し、私なりに納得しながら、良い結果の出せる2年間になるように、頑張りたいと思っておりますが、支部の皆様のご指導を頂きながら方向性を見出していければ幸いと存じます。皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新 役 員 紹 介



ゆとりへの一滴 坂 和道

今年度から、熊谷支部の組織にも「厚生部」が誕生し、そのお手伝いをする事になりました。当初、これは「遊びごと」担当の役目などと勝手な解釈をしていましたが、それではお叱りを頂戴しそうですので、少しはマジメ？に考えてみました。

「厚生」とはいったいどんな意味か、私共の仕事の関係先「厚生労働省」の名称の冠たる部分、この厚生なる語源は、中国の古書である書経に発していて、「人民の健康を維持または増進して、生活を豊かにすること」と辞典に記載されている。

生活を豊かにするなどとは届くすべもない事で、賢明なる会員諸先生方のご理解を得て、せめて気分転換や、ゆとり行事の推進役ともなればと思いますので御協力下さい。

1. 企画行事には奮って参加願いたい。
2. 率直な御意見をお聞かせ下さい。

年間の行事予定に組込まれている本年度分は、次の通りですが詳細決定次第、逐一お知らせすることになります。

- | | |
|----------------|---|
| ① 県会主催（支部対抗）行事 | ソフトボール大会（10月20日（土））
ゴルフ大会（11月7日（水））
ボーリング大会（14年2月16日（土）） |
| ② 支部会企画行事 | ボーリング大会（10月19日（金））於本庄
一泊研修旅行（11月18日（日）～19日（月））予定
忘年会（12月中旬） |

ところで、私共の日常生活で発生するストレスは、年々増大傾向にあると報道されていますが、皆様はいかがでしょう。

得意先関連の日常業務や人間関係、電腦万能時代の過重疲労、法規改正等の研修連続、一家の大黒柱使命使命感などなど、「健康」を維持することは否応なしに、個々の責務であり、努力が必要である。

仲間と交わり〔たまには〕飲むもよし、四季折々の自然風景に触れるもよし、スポーツ的鍛錬またよし、総て健康の基本は、「厚生」の範疇と心得るべきかもしれない。

厚生部行事が、活力を生む一滴ともなれば幸である。

役員就任にあたって 塚越 尚之



この度、熊谷支部総務部長を拝命致しました塚越尚之でございます。ご推薦いただきました皆様のご期待に添えるようがんばります。よろしくお願ひ致します。

さて、皆さんもご存知の通り本年度から事業部としての活動となりました。橋本支部長をはじめ木元・鳥羽両副支部長のご指示の下、各部長との連携により、支部活動及び会員サービスの充実に努力したいと思います。

まだまだ未熟な私ですが、先輩方のご指導の下、精一杯努めたいと思います。会員の皆様の暖かいご指導を心からお願い致します。

新 役 員 紹 介



協力事業部 日向 裕道

橋本支部長はじめ多くの先達の恩恵をうけて、支部組織に部会制が敷かれました。その一つ、協力事業部を担当することになりました、日向です。よろしくお願いいたします。

事業部としましては、その目的・方針につきまして未だ十分な討議はなされておりません。が、これまで支部長が担ってきた事務処理を軽減させていただきたい、という意志が、部員の共通項であると思います。それゆえ、当面は支部長副支部長の指導の下、支部の円滑な運営に寄与したいと考えております。

ただ、今後とも予想されます行政協力相談員等の派遣依頼につきましては、「登録型」も考慮に入れて、取り組みたいと思います。

次に、実務研修の必要性を感じております。入会間もない会員等が、不安なく行政協力に参加できるような場作りも必要ではないでしょうか。さらには、銀行等での年金相談担当者の養成は急務と考えておりますので、研修部とも協議してその運営実施をお願いしたいと思います。

最後に、総務、経理部への要望を一つ。

行政協力、郵便局での年金相談等に協力してくださる会員達の名札を作成購入していただきたい。これにより、相談者との親近感がますことはもとより、士業としての品位を保ちつつ責任ある職務に、さらに挺身できるのではないのでしょうか。



役員に就任して 木村 美知子

今期、熊谷支部の経理部長に就任させていただくことになりました。正直なところ、大役をお引き受けしたものの、どこまで、皆様の期待に添うことができるか、心配の方が大きいです。

開業社労士として、業務で頭がいっぱいというのが、本音ですが、支部に所属して活動する立場にある以上、精一杯の協力は惜しまぬつもりです。

今期から役員の体制が今までと少し変わり、部編成となりました。今まで負担が集中して支部長に掛かっていた分を分散化する試みだと思います。同時に各部に部長副部長、部員が加わり、参加メンバーも増え、支部を運営しているという意識が共有できる状況となりました。

このような新体制の中での経理部長のトップバッターとなったわけですが、経理部自体も少し、新しい形をとり入れたいと考えています。具体的には、今まで支部長が全面的に引き受けて下さっていた、年金相談、行政協力の謝金等の振り分けも経理部で引き受け、支部のお金の動きは、全て経理部で、管理することになりました。これに付いては、経理部も部長のほか、副部長、部員でそれぞれ担当を決め運営すること、部内での情報交換を正確に行うことでより広範囲となった任務に対処していきたいと考えています。

私達の専門分野である労務管理ではありませんが、より、正確で効率のよい「しくみ」を意識した運営をしたいものです。

経理部のメンバーのチームワークを整え、2年間楽しく過ごせたらと思っています。

よろしくお願いいたします。

新 役 員 紹 介



広報に夢を託して 井草 光子

今期の支部組織は部制となり、事務分掌が明確に区分されました。私は研修部の仕事をやらせて戴きます。

スタッフは四輪駆動型の川崎さんと、フレッシュ世代の象徴、寺山真澄さん。担当内容は配布図書の選定・広報誌の発行等で、もう広報第1号は川崎さんのリードと新感覚の寺山真澄編集長で迅速、かつ意欲的に進行中。

えっ、じゃ井草は何をしているのかって？行動派の2人に型式の古い分霞むけれど広報の理想と必要性への熱い想いは捨てたものじゃないと自負しています。ハイ、第1号は捻りの効いた御挨拶、次号からは、その時々の特徴を出していけたらと思っています。

新しい会員名簿が届きました。熊谷支部には、これだけの人が仕事をし、この組織がある。当然そこには多様な御意見や御希望、見方考え方がある筈です。

IT革命と言われ大量な情報が得られる今日ですが広報を通して心の交流に、どうぞ参加して下さい。紙に書かれた文章からは、その人の心が読めるというとか。挨拶だけだった人の考えに共感したり、ホッと和む話、意外な見方に出逢ったり……。

ポストに届いた郵便の中から、支部会の席の配布物の中から、まず最初に目を通す、それが支部の広報誌『ネットワーク社労士』であって欲しいのです。

皆さんの広報誌を育てて下さい。ご要望を伺う為にアンケートも企画しています。配布図書への希望、研修内容も含めてご協力を、お願いします。

楽しい活動にしたいなあって夢見ています。どうぞよろしく。



役員就任にあたって 川崎 嘉裕

研修部副部長を担当させていただくこととなりました川崎でございます。井草部長のご指示の下で精一杯努めさせていただきたいと思っております。よろしくお願い致します。

さて、研修部の担当は熊谷支部が実施する研修、熊谷支部広報誌の発行そして配布図書の選定となっています。研修事業に関しては、なるべく皆さんのニーズにあった研修を企画し実行して行きたいと考えております。

そこでみなさんをお願い致します。会員のみなさんは、どんなことをどのように勉強したいのでしょうか？具体的にお知らせください。10月20日までにいただいたご意見はなるべく本年度の事業に反映したいと思っています。ご発言の方法は、FAXか郵送にて川崎宛お送りいただくか、または熊谷支部のメーリングリストにアップしてください。なお、なるべく多くのみなさんに意見交換をお願いしたいのでFAXまたは郵送でご意見をいただいたものに関しても原則としてメーリングリストにアップしたいと思います。(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

川崎 嘉裕

次に、広報誌に関しては、寺山真澄さんが編集長を引き受けていただきました。なるべくみなさんに読んでいただける広報誌となるように努力したいと思っております。そこでみなさんにお願いが二つあります。ひとつは広報誌に対するご意見ご要望をドシドシといただきたいと思っております。もうひとつは記事のご協力をお願い致します。支部の広報誌はみなさんからの記事のご協力がなければ成り立ちません。皆様のご協力をいただいで、熊谷支部らしい広報誌ができればと思っております。

最後に配布図書の選定ですが、これは、研修部でリストアップして支部の役員会でご審議いただいで決定するようです。今年中にリストアップができればと思っております。ご意見ご要望がありましたら研修部員までご連絡ください。

お願いばかりで恐縮しておりますが、会員のための研修部となるには、皆様のご意見をお伺いしなければ始まらないと思っております。皆様にご指導いただき、そして皆様のご意見をお伺いしながら、より良い事業を展開したいと思っております。

研修部をよろしくお願い致します。

埼玉県社会保険労務士会熊谷支部
支部組織 (平成 13 年～14 年度)

支 部 長	副支部長	監 事	相談役
橋本正行	木元貢次・鳥羽志津子	井上喜久男・南雲繁男	中村茂・栗林正道

執 行 部					
	総務部	経理部	厚生部	協力事業部	研修部
担 当 事	支部長	支部長	木元副支部長	鳥羽副支部長	木元副支部長
部 長	塚越 尚之 (幹事)	木村美知子 (幹事)	坂 和道 (幹事)	日向 裕道 (幹事)	井草 光子 (幹事)
副部長	原口 守	内田千恵子 目黒みどり	高山 来和	小島 英治	川崎 嘉裕 (幹事)
部 員	中村 英一	瀬谷 卓美	樋口 頼正	篠原 知宏 浅見 幸江	寺山 真澄

編集後記 寺山真澄

まだまだ広報誌は続きます。



この度、研修部の部員として広報誌の編集長を引き受けました寺山真澄です。編集長を引き受けてから早いもので3ヶ月が経ち、ようやく会員皆様がこの広報誌をお目に掛けることが出来ました。

広報誌というのは、見るものだと思っていた私には今回の編集長としての経験は大変勉強になり、また刺激となりました。

今回発行するにあたりまして支部長・井草部長・川崎副部長をはじめ、多くの先輩方の御協力とアドバイスを頂きましたことをこの場をお借りしまして深くお礼申し上げたいと思っております。今後も広報誌がくるのが楽しみになるようなそんな広報誌を会員皆様と一緒に発行する事が出来たらと思っております。是非ご協力の程お願い申し上げます。

他士業紹介

埼玉県行政書士会熊谷支部 支部長 新井重雄



こんにちは
行政書士会熊谷
支部です。

このたびは、埼玉県社会保険労務士会熊谷支部の支部便りに、お招きいただきましてありがとうございます。

このお話をいただいたとき、まずもってさすが、社会保険労務士会は斬新な企画を打ち立てたと感じました。スタッフのみなさんには敬意を表する次第です。

私どもも支部便りを発行しております。ステップアップを図ってるところでございまして、大いに参考にさせていただきたいと感じております。

せっかくな機会でございますので、行政書士会熊谷支部の紹介をさせていただきます。

当支部は熊谷市、妻沼町、江南町、大里村の地域からなっており、現在81名の会員数です。業務はみなさんご存じのとおり、

- ① 官公署へ提出する書類の作成、相談
- ② 事実証明、権利義務に関する書類の作成等

①については基本的にどの士業にもあてはまるもので、その業務内容によりお互いに制限を受けているわけです。今後の規制緩和、構造改革によりこの境界がなくなったり、壁が低くなることも考えられます。お互い気になるところですね。

それから、支部組織は部制をとっています。総務部、経理部、厚生部、業務部からなり各部で事業を分担しその執行にあたっています。

2、3の事業をご案内いたします。

今年、「高度情報通信社会への対応」を計画しました。どの士業も同じでしょうがこれは急を要する課題とおもっています。

おかげさまで当支部もメイリングリストが立ち上がりました。橋本支部長のお力をいただきまして、スタートすることができました。現在、一息ついたところです。

まず慣れること、少しずつ上達すること。そして来る電子申請に備えたいと考えております。

MLについて社会保険労務士会はベテランの人たちばかりです。私たちはまだひよこでございます。おおいに勉強していきたいと、おもっておりますのでご指導の程お願いします。

「クラブ愛好会の助成」もおこなってます。同好の人達が集まり体力増強、情報交換や親睦を深める効果が期待されてます。

これもスタートして日が浅いので、効果があらわれるのはもう少し先になるでしょう。これから活発になってくるものと、楽しみにしているところです。

「ゴミゼロ運動」は恒例化しました。地域環境の美化保存に一役買えればとおもっています。が、自分のためでもありますね。参加した後に感じるのですが、けっこう自己満足しています。

社会保険労務士会、行政書士会とお互い、刺激あって成長できればよいですね。

とりとめもなく行政書士会のPRをしてしまいました。

このような会ですが、これからもよろしくおつきあいの程お願い申し上げます。

本日は、貴重な誌面を提供していただきまして、ありがとうございました。

新会員紹介

掲載事項①名前②事務所名③住所

④抱負⑤趣味・生きがい

⑥その他どうしてもいいこと



- ①森 正男
- ②森社会保険労務士事務所
- ③児玉郡児玉町大字入浅見
870番地5
- ④20数年前に取得した資格、

開業はしましたが分からないことばかり、今は11月の年金相談に向け勉強しています。

⑤運動を兼ねて、子供とバトミントンをして楽しんでます。

⑥何時までも健康でありたい。



- ①川上 景子
- ②川上社会保険労務士事務所
- ③熊谷市末広4-7-17（これは自宅です。今は能見会計で会計のパートをしているので、事務所の住所で開業登録しています。）

④これは時に矛盾する課題となるかもしれませんが、事業主と社員さんの双方に喜んでいただける社会保険労務士業を営んでいけたら、と思います。まずは、それ以前の課題として、今のところ顧客が1件も無いので、取り急ぎ顧客をゲットしなければ、です。ただ、現在、自身の顧客獲得の営業にかかる時間がないのが悩みです。

⑤趣味は読書と映画鑑賞。踊ることが好きなので、フラメンコを1月から習い始めましたが、まだまだ趣味といえる程には至っていません。

生きがいはひとり娘の成長です。東京の学校に通っているなので、今は離れて暮らしています。金曜の仕事が終わると私も上京、おさんどんやらして日曜にこちらに戻ってきています。



- ①野口 高利
- ②ノグチ労務管理企画
- ③深谷市西島4-2-39
- ④労使間の潤滑油的な役割が

果たせる社労士になりたいと思います。

⑤スキー；下手ですがスキです。ゲレンデスキー中心の軟弱派です。キャンプ；オートキャンプのみで山登りは嫌いです。釣り；もっぱら釣り堀専用で、竿も持っていません。

⑥身長180cm・体重75kg・

独身(バツイチ)



- ①浅川 和昭
- ②埼玉社会保険労務事務所
- ③深谷市東方3707-47
- ④10年ほど製紙会社の勤務

および人事部に勤務いたしました。これといって能力や技能はありませんが、とにかく「人」が大好きで一生「人」に関する仕事をしていきたいと思い、資格を取得し、同時に転職までしてしまいました。一番好きな仕事を、一番好きな場所でできることに感謝しています。この転職を「天職」にしたいと思っています。

⑤「ちょっと帰りに一杯」会社勤務時代の癖(ほとんど毎日)がぬけていないので同じ生きがいをお持ちの方はぜひ誘ってください。

⑥北海道の稚内生まれの深谷育ち、大学以降は親元を離れてしまったため、約15年ぶりにこの地に腰を落ち着けることになりました。新たなスタートは何回あってもいいと思っています。みなさんにお会いできる日を楽しみにしています。ぜひ仲間に入れてください。よろしくお祈りします。



- ①内田 充
- ②埼玉縣信用金庫
- ③熊谷市久下4-1-41
- ④「面白いことをやっているやつ」と言われるようになったら

と思っています。

⑤スポーツ選手へのインタビューを読むのが好きでNumber誌などをよく買って読みます。自分では長距離のレースにたまに参加しています。

おめでとうございます

大石総一先生に長男が誕生しました

はやと

捷人ちゃん(平成13年9月4日生)